

特115

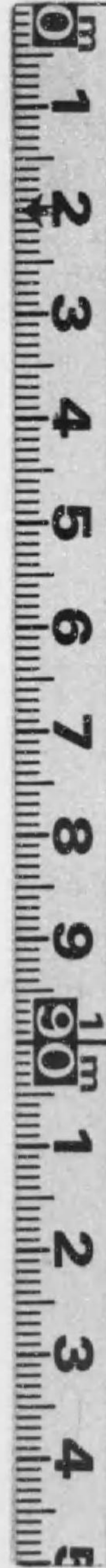
720

澤崎哲郎著

經濟問題論評集

第貳編

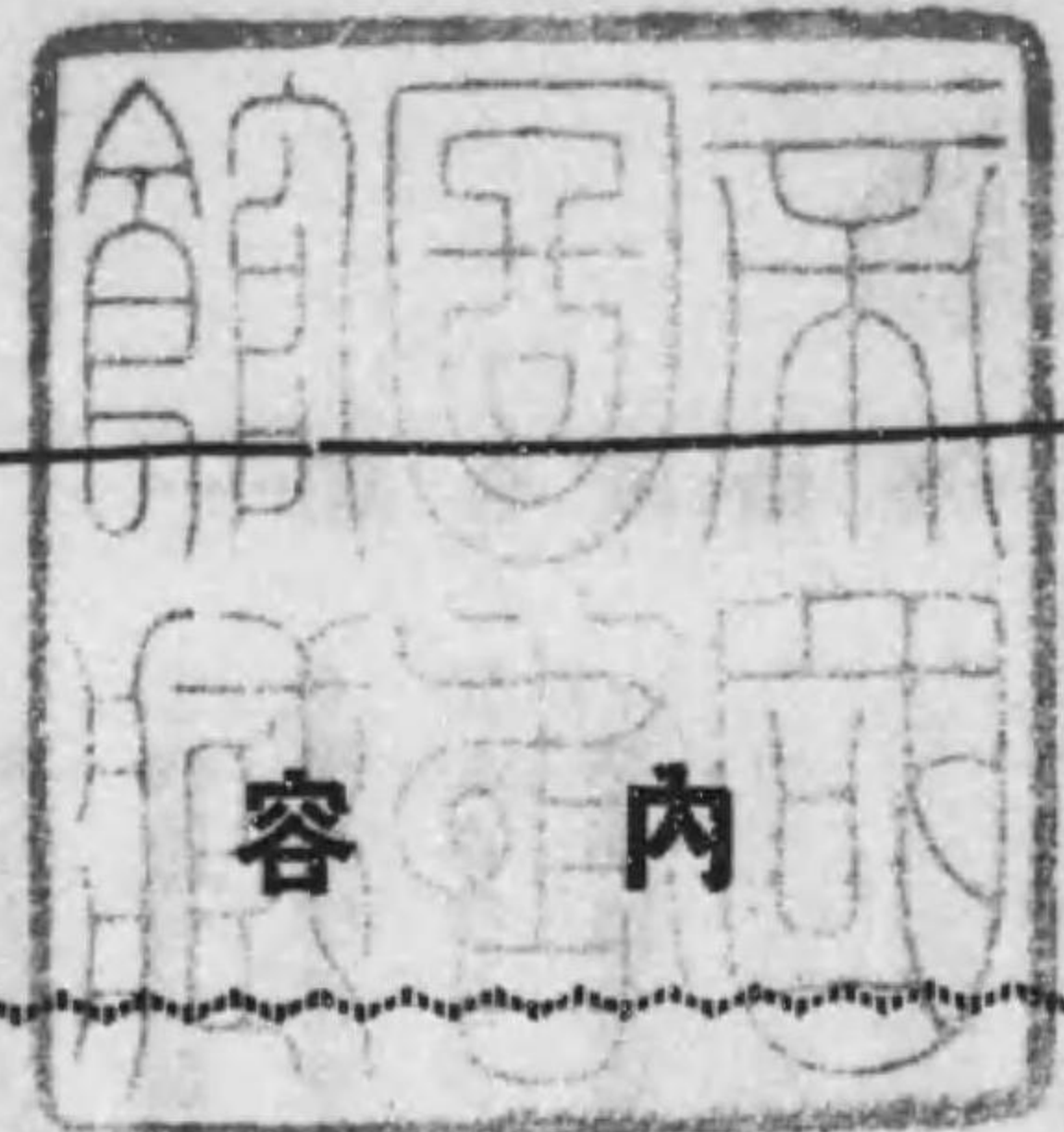
財界評論社發行



始



43115
720



內容

勞 溫 消 生 婦 人
 働 情 費 產 人
 組 主 組 組 問 問
 合 義 合 合 題 題
 法 義 合 合 題 題

大 正
 15. 6 21
 內 交



資本金壹 億 圓
 積立金參千九拾七萬圓

株式會社
十五銀行

東京市京橋區木挽町

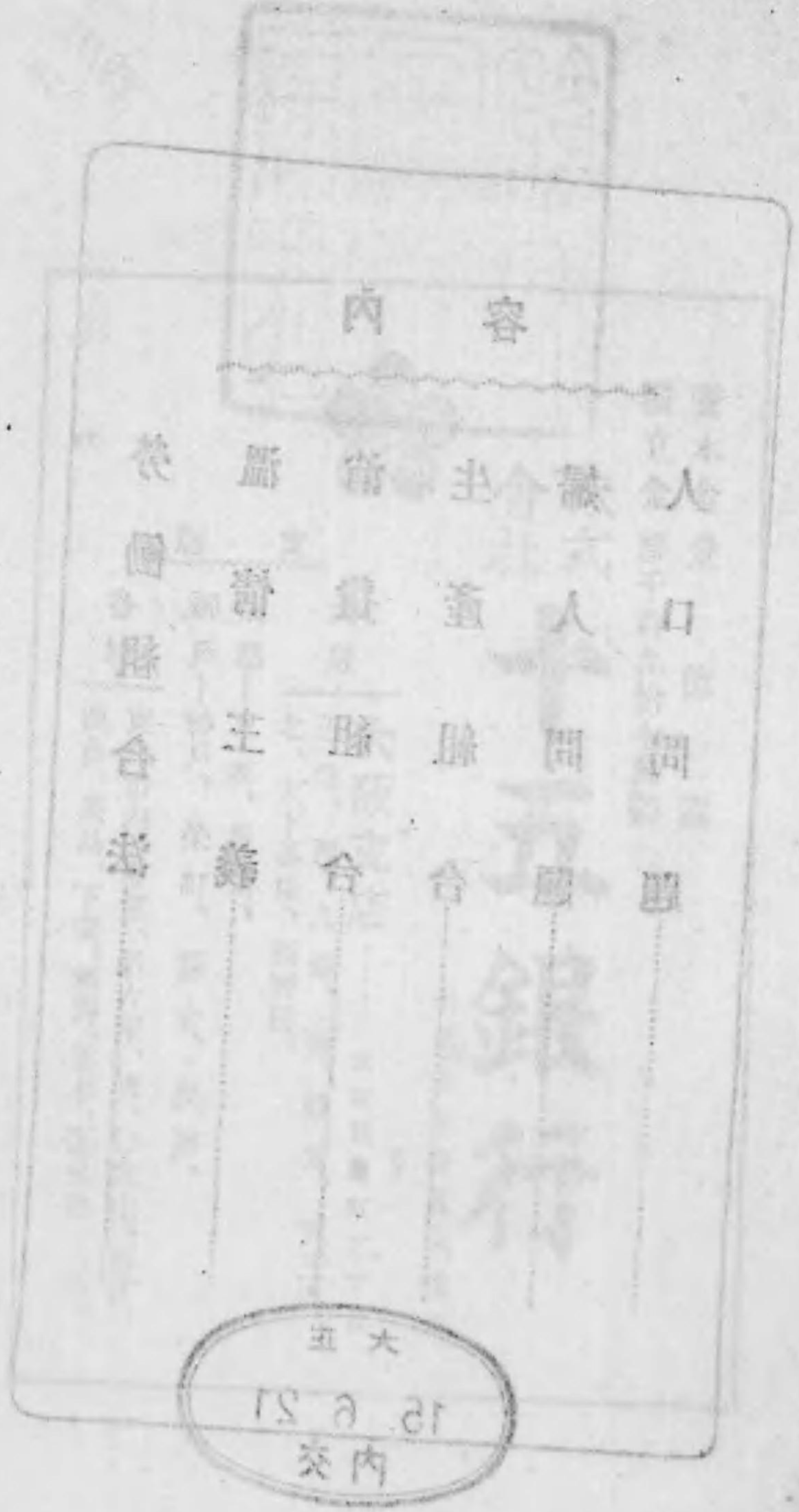
支 店
 大 阪 大 阪 支 店
 玉造、西、九條、南、難波、天王寺、
 北、天下茶屋、西野田、
 京 都 一 京 都、堀川、
 神 戶 一 神 戶、榮町、葺合、兵庫、
 各 地 一 東京市内、横濱、名古屋、堺、和歌山、西宮、
 岡山、廣島、下關、福岡、熊本、鹿兒島、川内、

労働組合の存在に對する最初の議論は、個々の使用人を保護するが爲めに必要であること云ふ事である。大協同に於て組織せられたる資本家が其の使用人に此の組織を拒むは素より罪惡であり不正義である。今日の資本制度の前には個々の使用人は孤立無援である。唯この組合の組織ありてこそ、初めて雇主との對抗上平等の基礎に置く事が出来るのである。労働組合は労働者と雇主との間に於ける仲裁、協定、相互責任及び永久の關係を定むるに必要缺く可らざる物である。若し労働者が單なる個人として存在する場合には到底此等の關係を處理する事が出来ぬ。英國の如きは大なる雇主側に於て夙に強固なる労働組合の

第五講

労働組合法

第一章 總論



必要を認め、率先して其の取計ひに任じて居た。随つて英國に於ける労働者は此の天與の恩恵に浴し、不斷の努力を續け舊時と比較して現在の労働組合運動は、直に英國の産業をして恢復せしめ平和の道へ導く物は此の器具であることへ叫ばしめた程である。

乍然、薄弱なる労働組合に在りては、其の役員が組合の一員ならざる限り、誠實なる一致協定を保つ事が出来難い、之に反し鞏固なる組合にして之に配するに責任感念の強き監督者を以てする時は、如何なる問題に逢着する共容易に解決し得るが故に、到底前時代の如く、小なる問題の爲めに面倒と損失等を永く取貽し置く如き場合が無くなる道理である。發明と器械力の進歩とは労働組合及び短時間の労働をして必要ならしめた、労働組合は賃銀労働者をして賃銀の恐る可き低減との間に設けられた唯一の防禦物であり、兼ねて労働問題の正確なる解決に對する唯一の希望である場合が多い。労働の圓滿に組織された事業は賃銀も高く又平和と希望が存して居る。

蓋し以上の様な議論は、此の組合法が爲し來つた事蹟に徴すれば現實に之を承認する事が出来よう、之に關しトランド氏が英國に於ける事歴を要約したる物は概略次のやうであ

る。

- 1、労働組合は賃銀の増收と労働時間の短縮に對して成功したる事
- 2、此の改良は作業能率を昂めたる點に於て資本主並に消費者（労働者を含む）を裨益したる事
- 3、労働者に組合の恩恵に對する確信を與へ、年々組合に加入する數は非常なる率を以て増加しつゝある事
- 4、労働者の宣明せる目的はストライキを防止し、且つ諸種の爭議を一掃せんことを以てあつた、乍併爭議鎮定の提議は労働者側よりも多くは資本主側に依つて拒否さるゝの傾向を呈したる事

前記の如く労働組合の目的を綜合する時は、賃銀の向上に依りて社會的に慰安を増加するに共に商業的に利益を齎らし且つ生産の増加、労働者の自己犠牲の感念を注入する事及び彼等に對して休養並に研究上の餘暇を與へる事が出来るなき、労働者をして善良なる市民たらしむるに必要にして且有効なる制度であること看做された、而して之

が個人の福利を云ふよりも団体としての利益幸福を目的として居る事は之を承認するに難らざる所である。

次に北米合衆國に於ける労働組合も之と同様なる結果を招來し、

第一、労働時間の短縮

第二、賃銀の騰貴

第三、賃銀の低下防止

第四、夜間に於ける婦人及小兒の就業禁止等

諸種の利益を生んで居る。其の他工場内に非常口を設けて使用人の生命及身体を擁護し或は男女の工場監視人を設けてゐた等の事項も存する。更に労働組合法に依り、夜間學校の設立、賃銀の週間拂に關する法律の制定等數へ來れば其の利益や鮮なからざるものである。

斯の如き諸法律は組合組織の鞏固ならざる地方に於ては通過したる事は稀である。而して該組織唱導者の盡力も亦預つて力ある物である、猶貧弱なる労働組合にても漸次發達し

て善良且強固なる組合に成つたものも鮮くない、故に其の設立を閉却するが如き事は實に不利益である。

次は労働組合に對する反對の聲である。

第一に之を暴戾である云ふ事であるが、事實は反對に全然デモクラチックな物である何れの組合も、組合員各自に、其の機關運用上に付て投票參與の權を與へて居る。故に組合全体の利益なる場合が多い。例之組合員中の一部が自己の意志に反してストライキの投票を爲したる場合に於ても、大多數の利益の爲めには止を得ない事である。従つて一小部分が大部分の意志に服したりして直ちに暴戾なりと斷ずる事は出來ぬ。若し此の組合の組織なしに雇主の命する儘に労働に服さなければならぬとすれば、一個の組合に屬して自己の意志に反して行動したる場合よりも其の結果や眞に堪へ難きものがあるに相違なからう。

第二に労働組合が煽動者に依つて指導され、該煽動者の俸給は單に煽動を爲すが爲めのみ支拂はれて居るこの説である。之は往々斯かる事實に遭遇するが、元より極く稀であ

る。労働組合は常に一定の交渉委員を置き雇主と使用人との間の経済的折衝其の他に當らしめて居る。

第三に労働組合が無用なるストライキを起さしめる點に於て餘りに悪戯であること云ふ事であるが此の點は餘りに見解を誤つて居ること言ふて差支ない。

第四に労働組合は労働力の効率を低め、個人の権利に干渉し、使用人に過激心を養成し亦仕事に對する熱練の有無に拘らず組合員の不當、及びストライキに際して組合外の就業労働者を批難するの暴を擧げて居る。此等は基礎薄弱なるか、或は創立日淺く訓練の足らざる組合に於ては時たま發生する無きを保し難きも、之にても労働組合法の罪には非らずして組合員の無智不徳が致す缺陷に外ならぬ。此事に於てはマーシャル教授も其の著『産業の經濟』の中に裏書されて居る。

組合に加入せざる人々に對して反對して起る所の罷業時の暴擧は無責任なる青年男女の悪戯半分に行ふものであつて労働組合の戦術として行れるものではない。財産に對する暴擧も多くは無頼の徒の爲す所であつて決して組合員の行ふ物ではない。大部分の組合員は

財産を防衛せんことを努めて居る、之は蓋し斯くする事が永い間に於て自己に對して利益である事を知れるが爲めである。

労働組合員が熱練の有無に拘らず均等賃銀の要求を爲すことの不平に就ては、トランド氏も亦ラスキンも相當の辯護を與へて居る。即ち苟も使用に堪へ得る労働者に對しては能力の如何に拘らず最低賃銀を定むるの必要あるに出で、居ること云ふやうなる事を説明して居らる。

第二章 米國に於ける労働組合

米國に於ける労働組合の歴史は之れを五つの時期に區別する事が出来る。(1)初期の拾時間運動を包含する所の一八四〇年迄の基礎時代、(2)共產社會主義の渦を伴ひたる労働組合方面の徐々の發達期、而して之には一八六五年に終りたる叛亂に於ける全關係の集中が附隨してゐる、(3)一八七八年迄の労働組合方面の活動時期、(4)一般組織に就ての大同盟罷業に諸盡力の在りし時期にて労働者權利擁護會の如きが其れである。而して此の現象は一八

八六年に於て最高潮に達して居る。(5)米國労働同盟の湧起せる時代。

米國労働組合法の始源は精確に判明して居らぬが、何んでも最初紐育市に於ける麪麩屋が食パンの目方と價格に付いて市の規則を設けさせる爲めに運動を開始したのに起因するらしい。之は十八世紀の中葉に發生した事柄である。次は一七七六年に於ける同市の印刷工の賃銀増加の要求であつて、之が拒絶された爲めにストライキが起つた。フィラデルフィア州では一七八六年に雇主が賃銀を減らさうとした爲めに同業者の合成が成り立つた。云ふ話である。併し之には使用人たる印刷工の結束があつて、雇主側の計劃は不成功に終つた。水夫のストライキが最初起つたのも紐育であつて一八〇三年の事であつた。要するに一八二七年以前は此の方面の組織が具体化して居らなかつたが、一八二七年以後十年間に於て労働者側の總ての要求が連結承認の形を以て取運ばれる迄の段取に到達したのである。依つて此の時期を以て労働組合法の實際始源とする事が出来る。斯くて異種の就業者同士が互に結束して今日のやうな代表者制度に基く中央部隊が編成された譯である。又斯うして組織立つた編成上からして今迄不活潑であつて所の彼等の聯合精神が勇氣付けられ

且つ其の人員を増加するに到つたのである。

次は其の組織であるが、英國は一八二九年にマンチエスターで最初の労働組合が組織され、米國では之れよりも二ヶ年早く即ち一八二七年に於て費府で『職工労働組合』が成立して居つた。併し此の兩組合とも一二年にて解散して了つた。但し費府の組合解散は政治的に變形し、次いで紐育其の他の諸州に於て労働者側の政治的運動が起つた。此の運動が一ト仕切り續いて後、屏息し紐育に於て一般労働組合が組織されたのは、降つて一八三三年の事であつた。

一八三四年に到つて地方的の諸組合が合同して内國聯合を形造り、憲法及び役員を有する所の内國労働組合が生れた。概言するに、米國の運動は英國から輸入されたものではなく、全く米國本來のものである。當時此等の團體より發行せる諸種の機關新聞があつた、又ロバート、オーウエンの如きが居つて以上の運動及び組織に對し多大の壓迫を加へたのも當時の事であつた。尙一八二九年に於ける紐育の運動はフィラデルフィアの其れに比して遙かに過激なものであつた、彼の職工技師たりしトーマス、スキットモアが土地均分

法を制定して會集の採用する所となり、彼等の決意は、造物主が人間に對する平等の創造并に之に附隨せる勞力に對する報酬の當然なる事及び土地耕作の權利に對する政府の保証に在つた事が特に人目を惹いた。乍併労働者の味方たるタンマニー氏が現はれ、聽てスキッドモア氏を驅逐するに到つた。

フィラデルフィア及び紐育州の諸州に於ては、労働者の仲間に少許の雇主も加はつて居た、そして一八三五年及び一八三六年に於ては生活費が五十%から一〇〇%へも昂つた。併し賃銀の騰貴が之に伴はなかつた爲め自然に其處に賃銀生活者の結束運動が現れて彼等の大會議が催された。爾來三十年を経ずして南北戦争が勃發し米國の經濟組織の上に一大變革を被瀾の跡を止むるに到つたのである。併し之れ迄に到達する間には一八三五年及び一八三六年に於ける同盟罷業時代其他政治的諸種の事件を捲起し、此の間労働組合が其の熱心と獻身的犠牲の維持となり、種々なる變遷及び鬭争的行爲の後ら、労働組合の如きも或は消へ或は生れ、最後に其の目的とする所を政治の圏外に脱出して所謂智的方面に振り替へ、併せて人道の見地より改革の運動を進めるようになった。一般に此の時代は労働

方面から觀て急激なる覺醒を謂はねばならぬ。先づ雜誌と新聞とが労働問題の爲めに全紙面を提供した、人道論者も労働及び生活状態の吟味へ一歩を進めた、政治家も自己の政綱の中に必ず労働政策をば置いた。保護貿易論が貧民労働論と變つた。製造業者は労働運動を資本化する可く始めた。負債に關する罪が一八三五年以前に除かれた。無月謝學校が一八五〇年以前に實現された。職工の財産留置權が紐育から他の全洲へも普及した、労働者の要求は即刻に其の一部は必ず容れられた、十時間労働が標準となつた、陪審官も労働犯に對しては無罪の判決を與へるやうになつた、而して住宅法案の制定も此の時代に萌芽を發して居る。

一八四四年より一八六六年に到る間に於て労働者の種々の組合が組織されたと同時に其の會議も屢々招集された。蓋し此等の會議こそ究極は土地問題に集中され、一八六一年に於ける住宅法の先驅を爲したものである。

其の後内亂の勃發に依り、兌換紙幣の増發は物價の昂騰を來たし一八六三年の半に於て之が大飛躍を爲した。従つて此の時代に組織されたる労働者の組合は、中央と言はず地方

言はず多くの職工階級に迄及んだ。斯くて此等の諸組織の連絡されたものが即ち『内國労働同盟で』ある。

此の同盟は一八六六年に初會議を招集し、早くも八時間労働制を決議して立法府の協賛を経たのである。其の他此の同盟が行ひたる積極的事績は一々枚舉に遑ない程である。

次に『労働者権利擁護會』は最初フキラデルフキア州に於て此の同盟の後身として現れたものであつて、洋服裁縫工たるステイーブンス氏の盡力が與かつて力あるものであつた。斯會の目的とする所は全労働者を一團と爲す事に在つたが、労働者の屬する労働組合に對しては何等の關係を有するものでなかつた而して之が發達は一八八六年に於て會員五十萬人を算した事に徴しても其の著しい事が立證されよう。

十九世紀の末葉に於て米國オハイオ州に組織されたる『米國労働同盟』は主義に於ては『労働者権利擁護會』と相反する所があつた、併し前者も多くの都市に於て相當に成功の績を収めた。

近代に於て萬國労働者協會インタナショナル・アソシエーションへ内國労働同盟から委員を派遣した時代には、社會主

義者の一部の團體が労働組合の指導者に對して痛撃を加へた。彼等は別に社會主義的基礎の上に労働組合を設けたが、著しい成功を仕遂けずして了つた。

米國の労働同盟中最も強固なるものは鑛山労働者、仲仕人夫及ビール醸造職工の同盟であつた。鐵道従事員の同盟の如きは一時旺盛であつたが失敗に終つた。

有繋に米國は他國の移住民多き爲め同一労働組合に屬する組合員中に國民性及び言語を異にする者があり、又近時機械の發達と労働力の細分等に依り、労働組合の内容と實質とに變調と特質とを示す事が少くない、之は他國に見られざる珍現象と謂つた可なるものである。又米國に於ける労働組合の他の特徴としては、商品に標札を附してある事である、此の標札のある物品は労働組合従業者の作製した物であつて一般購買者に對する保證となつて居る。

第三章 英國に於ける労働組合

英國に於ては第十七世紀の末期迄賃銀生活者が彼等の經濟的地位を防禦し且つ向上せし

むる事を目的としたる恒久的組合の組織が起らなかつた。而して一七〇〇年に英國西部の羊毛職工が組織したる組合を以て最初のものにせられて居る。

第十八世紀に入りて諸業者の協會が組織されたが、其の結束の軟弱なりし爲め、其の組織の不合理なるを認められた爲めに此等の団体は動もすれば可成り苛酷な壓迫が其の筋から加へられたのである。斯くて幾多組織上の經驗を労働組合思想の發達に依り徐々に生長の経路を辿り、遂にはマンチエスター市に於ける年會の招集が一八七五年以後一個の勢力をなつたのである。

初め労働組合論者の執りたる政治的行動は過激主義若しくは自由主義の名の下に置かれたが、之が自然發達して、労働組合の主唱者側に其の組合の法律的承認を獲得す可き努力の必要ある事を悟らしめ、英國に於ける保守派以外の中流政治家をも動かすに到つたやうである。

次に一八八〇年以後の狀態には一つの變化があつた。これは即ち新聯合主義の出現である。此の主義は労働組合に對する近世英國社會主義の結果であるを説明する事が出来る。

即ち一八八二年頃トムマン氏及びジョン、バーナム氏の如き青年進歩家が舊時の同盟組織が餘りに保守的であり且つ全然非政治的であつたが爲め、此等の點に不満を持って高調したる結果に成つたものである。従つて事實に於て之には大なる罷工も伴つた。

英國に於て労働組合運動が特に逸出して其の特徴を示したる事は、之が政治的活動の參與及び議會に於て獨立せる『労働黨』の建設せられたる事である。最初英國々民性の特質を以て個人の權利を尊重し、集團的には重きを置かざりし傾向のありしが爲め、米國の如き急激なる發達を労働組合發達史中より見出す事は困難であるが併し労働組合の性質上勢ひ團体的觀念が次第に強烈に成つた事は争はれぬ事實である殊に前記の如くに政治的行動を直接に伴ひたる此の方面の傾向は特筆すべき價值を充分に備へて居る譯である。

其の後一八九九年に於ける労働者代表會議には三十五萬餘の組合員を有する所の四十一個の労働組合を代表せる委員が第一回の會合を催したが、之れが一九〇六年に到つて、組合員數九二一、二八〇、組合數一五八を算するに到つたのである。

以上の如く、英國の労働組合は、政治的地域に充分活動して居り乍ら一方産業上の地域

に於ても相當に其の組織を強むる事を閑却して居らなかつた。
現今既に多くの組合は同一産業に屬する聯盟の中に加出し、此等の各聯盟は相互に幫助の實績を擧げて居る形になつて居るのである。

第六講

温情主義

第一章 温情主義

意 義

廣義に解釋せば、資本制生産の下に於て、爲政當局者及び雇傭者が無産勞働者の爲めにその利福の増進を計る、一切の施設、行爲を總稱する事となり、工場法の制定、勞働保險の設置、凡ての社會政策、凡ての勞働條件改善等を悉く含むものであるが、普通には、雇傭者が使用勞働者に對し、進んで其の利福を計る行爲に出づる事を指して居る。
人間は情義に動く心性を抱き、利害の打算にのみ終止するものでないこの見地より、温

情主義は労働運動の對策として用ひられる。即ち、労働者が未だ要求せざるに先ちて、進んでその満足を計り温き感謝の念を抱かしめ、冷かなる打算的要求の要を無からしめんが爲である。然れども、斯る觀念の一面には、五個のものを與へて十個の要求を遠慮せしめんとの巧妙なる術策が藏せられて居るを解釋せんか、名は温情なるも實は甚だしき冷算である。近時温情主義が労働階級の反感、識者の嘲笑の對象となつた所以は、温情主義なる觀念の眞意が看破されたに依るものであらう。

次の項に述べるが如く、世界に於て、温情主義の施設の最も徹底せり稱せらるゝは、獨逸のクルツプ製鐵所であるが、其れに對してすら、尙ほ左の如き批評が加へられて居る温情主義なるもの、眞價、以て知る事が出来る。

「クルツプが労働者の爲めに設けたる長家の如き、一戸に就き、年に百四十馬克の家賃を徴するが故に、八戸續きの一棟の収入年々千百二十馬克に及ぶ、然るに此の長家の建築には常備の大工、左官、煉瓦工等のみを用ひたが故に建築費は低廉にして一棟六千馬克を出でず、故に五六年間の家賃にて全部を回収し、其の後は少額の維持費の他、悉くクルツ

プ家の純益となる。又消費組合の如きも、實は職工を束縛して雇主の意を強要するの機關に過ぎぬ。其世人の最も稱讃しつゝある老衰者、廢癩者の優遇の如きも、外面のみ徒らに膨大にて實際この特遇を受くる者は全労働者五萬内外に對し僅かに二百人前後に過ぎず。假に之等の批評を、何等かの惡意に出する誇張の言なりとするも、世界的の名聲を博せるクルツプの如きにして、尙斯る論難の餘地ある事を思はゞ、世上の所謂温情主義の類、一瞥せずして察知するに餘りある。

斯くて今や温情主義は、社會問題としての考察の範圍外に逐はれんとして居るが反温情主義的労働運動も亦、少しく鋭く觀察する時は、その目的が労働條件の改善に終止し、現經濟制度の根本的改造に觸れざる限りは、根本的の改造に比べて素より不徹底なるものとなり、本質上温情主義と異なる所はない。此の意味に於て、温情主義なる語は、之を廣義に解し、狹義のものに對するが如く、反感と冷嘲との對象とすること痛快でもあり、理義も徹底する。

事實

一般の用例に随つて、左に狹義の温情主義に就て述べんに、温情主義の施設として最も多く行はるゝものは、(一)、金錢の給與、(二)、物財の給與、(三)、快樂の給與、の三種類に分つ事が出来る。労働條項改善上の要項たる時間の短縮は、未だ一般に温情主義のプログラムと認められて居らぬ。

金錢の給與は、賃銀の増加、賞與金の支給、利益の配當、年金其他手當金の制定等である。足尾銅山にて嘗て社長古河某夫妻が作業を視察したる時、綺麗を纏ひたる夫人自ら坑口に立ち、出坑する坑夫に金一封宛を與へた、而して封内の金額は一圓紙幣二枚であつたこの事、此の二圓が坑夫幾千の膏血に依つて、彼等夫妻の飽きつゝある豪華の細片に過ぎざるを坑夫達が觀破せざる限り、斯る形式は以て温情主義の傑作とも云ふべきである。物財の給與は主として生活必需品の給與或は廉價販賣を意味する。家屋の無料提供或は家賃低減、食料衣類等の給與或は廉賣等の類である。日本に於ける多くの鑛山が、所謂鑛夫

……(義 主 情 温)……

……(76)……

……(義 主 情 温)……

長家を建て米穀廉賣を行へるが如き、多くの紡織會社が年に二回、綿布一反づゝを惠與するが如き、ある工場にて浴場を設け使用労働者其の家庭に無料にて浴せしむるが如き、又工場附屬の病院を建て、病氣負傷の手當を無料にて行ふが如き、何れも温情主義の生活物財支給の上に現はれたるものである。快樂を給與するものは生活上の直接の必要より一步進みたる、娯樂、慰藉等の機會を與ふる事である。東京市電氣局が年々従業員に相撲の總見物を振舞ふが如き、多くの紡績會社が構内に低級なる演劇場を設けて活動寫眞等を見せしむるが如き、又ある會社が忘年の宴を開き、社員を家族にもに招き福引の土産まで給するが如く何れも快樂提與の温情主義である。

世界に於て、最も温情主義的施設の徹底せりし稱せらるゝ獨逸のクルップ鐵工所の歐洲大戰前に於ける施設を記述する。

……(77)……

第二章 クルップ會社の温情主義

クルップは世界に於ける屈指の製鐵工場にて、特に兵器の製作に獨特の技能を示し、歐

洲大戦中の獨逸の爲めには實に巨大なる支柱であつた。一八一〇年エツセン市にフリードリッヒ、クルツプなる者が四名の職工を役使して一鐵工場を設立したるに初まり、爾來クルツプ家の私有の下に、主を代ゆる事三代、一九一五年には全事業に使用する労働者實に五萬三千人に達するの大工場となつた。假に労働者一人の家族を三人平均にすればクルツプ家の事業に衣食する人員二十三萬餘に及べる譯である。此の大工場の實施せる温情主義的施設は最も有名なるもので、全世界を通じて模範的のものみせられて居る。其の主要を左に掲記する。

家 宅

獨身者に對する寄宿舎は約百室にて一區劃を爲し、一室六人を收容する事が出来る。五室毎に一個の廣間があつて、遊戯娛樂等に宛てられるべく、簡單なる遊戯具あり、又各棟に清潔なる洗面所及び洗濯所あり、食堂は一時千人以上を容れるに足るものが設けられて居る。獨身者にて、自炊に興味を抱く者には其れに適する設備がある。それは二三千人が

一團を造り家事を二三人の婦人に一任して生活する組織で、室の構造なごも都合よく整ふて居る。寄宿者に於ける此の生活費は、一日の經費室代食料共に六十錢乃至七十五錢、自炊を營めば九十錢内外である。

家族を有する者に對しては別に長家街が設けられて居る、之等の長家は美しき並木町の兩側に建てられ、一棟八戸、毎戸四室よりなり、家賃は一年六十圓である。アルフレッドホフ等のものは更に完備し、一棟二戸にて周圍に花壇菜園も附屬して居る。各労働街には學校、圖書館、浴場等が各一個宛設けられて居り、浴場の地下室には洗濯場があつて、電氣力や蒸氣力が應用されて居り、晴雨に拘らず洗濯が出来る。

食 料 其 他

穀物、肉類、麵粉、雜貨等の賣店エツセン市のみにも三十六個所ある、又之に關聯して野菜貯藏所十九ヶ所、麵粉製造所二ヶ所を始め、屠獸所、製粉所、珈琲焙製所、裁縫所靴工場等が設けられて居る、是等はすべて工場が經營するもので、労働者其の家族の爲

めに一般市價よりも安く生活用品を供給するを目的とし、一千人に近い使用人が働いて居る。麵麩の配達だけでも百人内外を要する云ふ。仕事の都合にて従業中の工場へ、麵麩と珈琲を配達する便宜もあつて、夫婦共稼ぎの家族は工場から帰宅する時間までに食事を用意して貰ふ事も出来る。

是れ等の一般用品及食物はすべて市價よりも遙かに安價で、例へば二圓の賃銀に對し寄宿料食料合して六七十錢である。

傷病救濟

救濟事業に充つる爲め法律上の規定以外の救濟基金制度を設けてある。其中労働者の爲めの部分千五百萬馬克、労働者以外の者の爲めの部分六百萬馬克、其の他に老衰者や癩瘡者に對し四百萬馬克の別途基金がある。法律の規定に従ふて拂込む金額は年々約二百萬馬克である。又養生院が設けられて居て負傷者、疾病者、衰弱者を收容し、四週間を限度として保養せしむる。

教育養老

幼年兒童に對しては教育を授け老衰者に對しては労働を免がれしむる爲に、夫々の設備がある。教育は、男子には主として労働者たるの準備知識を授け、女子には労働者の家婦たる必要な智識技能を教へる。圖書館もあつて藏書五六萬冊に達し、自宅貸出しも行つて居る。

老人に對しては養老年金と養老院とがある、此の恩典に浴するを得るは、二十年以上勤続したる者で其の妻であるが夫婦の場合には同居する家屋を與へ、孤獨者は養老院に收容する。すべて肉、ソップ、珈琲を給し、パンとバターは養老手當にて自辨せしめる。又工場用の柳籠を作る内職の途も開けて居る。

是等の各種施設の外、娯樂用としてボート練習所、ボロー場、テニスコート等をも設けられて居る。されど之れを要するに、會社の尠大なる利益の一部分を割いて、労働者の生活に幾分の餘裕を與ふるだけのもので、結局は労働者の歡樂に依つて生産上の利益を増大

せんとする、一般温情主義の意義の範囲を出で、居らない。

第三章 利益分配

労働者に對して、定められたる賃銀或は俸給の他、定期的に、企業の利潤を割いて分配する所の報酬制度である、定期的でなければ、又企業の利益を割いたものでなければ、單に増與の類であつて利益分配とは云ふを得ない。例へば生産物の一部を分配する所の生産分配の如きは利益ではない。又企業が損失を生じたる時も、労働者に對しては、たゞ分配の停止を行ふのみで、損失の負擔は課する事の出来ないのを原則として居る。

意 義

利益分配の方法には、種々の利益が唱へられて居る、先づ資本主側より見る時は、(一)労働に對する、熱心と勤勉とを獎勵する事が出来て、生産力の擴大を招くと共に、(二)労働者に獨立自治の觀念を抱かしめ、監督上の手数を省略する事が出来る、(三)更に機械、

材料等に對する労働者の注意を喚起し、その浪費を防ぐ事が出来る等の利益があり、次に労働者の側より見れば、物質上の報酬が幾分なり共増大なると共に、それが自己の努力に比例すべき事が豫期せらるゝ故に、精神上の慰藉を受けるにせられて居る。又社會政策の見地より見れば、資本家の利得に應じて、労働者の収入が増加するので、貧富の懸隔を緩和する事が出来るにせられて居る。

然れ共、之を近世社會運動の思想に照らして稽ふる時は、しかく優秀なるものではない第一、利益分配なる名稱は甚だ美しいが、若し分配平均額が、定額としては賃銀の上に加へられて居るならば労働者の収入は、分配として受取るよりも一層安定が得らるゝ譯である、由來、賃銀に確定せる標準が無い限り、賃銀以外の支給なるもの、實は當然賃銀の一部であるべきものを、單に名を換へて交附されつゝ、ある共解釋する事も出来る。そこで此の制度は、是に依つて労働者の満足を購ふてその努力を促し得る間は、資本主こそ多大の便益を享受するものである。

すべての社會政策的施設は労働者の爲めを標榜しつゝ、實は資本家の利益の爲めに行はる

るものであるが、此の制度の如きは、その中にも比較的巧妙なるもの、一つである。たゞ、此制度が、漸時その内容を労働者に有利なるやうに改め進みて、遂に労働の産業經營参加に到達し得る事を豫想し、その豫備状態を見れば自ら双別の義意が認められる。

分配物の種類

利益を分配するに、(一)現金を以てするもの、(二)貯金を以てするもの、(三)株券債券等を以てするものとの三種に區別される。(一)現金に依る分配は主として米國、英國にて行はれるもので、労働者の思想傾向、社會状態等より、労働者が眼前の利益を望む事の急なる場合に有効である。されど資本主側より見れば、見れば、他の二種の方法の如く、労働者を引續いて牽制するの便益が得られないから、成る可く此の方法は避けようとする米國、マスタチエリッツ州。フォールリバリなる、ボリン紡績會社の實施する利益分配は此の方法の適例である。イリノア州、エドワッドレルなるネルソン製造會社は、後には株券を以て支拂ふ事となつたが、初め現金を分配した期間はその分配額は各々賃銀に對し

て、第一年は五%、第二年第三年は一〇%、第四年は八%、第五年は一〇%、第六年は七%、第七年は四%で、平均八%となつて居る。

第二の、貯金を以てする分配は分配すべき、金額を労働者全体の爲めに設けたる基金中に繰り入れるもの、各個人別に貯金せしめて資本主が之れを管理して居るものがある。各個人の貯金は多く規定期間の後か、規定の事故の突發したる時云ふが如き、條件の下に各労働者に給付する事となつて居る。労働者が任意に退職する時、或は處罰の意味にて解雇される、時なきには既得の権利を沒收する、規定の所もある。

獨逸、フオン、チヨリネンの農場の採用せる此の種方法は各個人の貯金とし、年々四分の利子のみを拂ひ渡す、本人が六十歳に達する時は全部の引出しを許し、死亡した場合は遺族に権利を繼承す。

佛蘭西の、巴里一般保險會社は、年々純益の五分を積立金とし、各労働者の之に對する持分を定め、それより生ずる年四分の利子は各個人の所有とする。會社に雇用されて二十五年に及ぶか、或は年齢六十五歳に達したる時は、積立金より年金を支拂ひ、個人の貯金

では公債を買はしめ、公債は會社が保管し、利子を本人に與へる。本人死亡の時は、全部を相続人に引渡す。

此の方法は労働者を引付けて、資本家との雇傭関係を永續せしめ、資本家の努力使用上の安定が得られ、又此の方法では一度分配した利益が、長く労働者の精神を支配する事となる。

第三の株券若しくは債券の附與に依る利益の配當は、つまり資本に對する權利を分配するものであるが、その權利には爾後年々利益が生ずるので、一見二重の恩典に浴するが如く見へ、労働者の心を收斂するには、配當金を貯金せしむるよりも更に都合よきものこそされて居る。

瑞西、ジュネーブに於ける、ビルトン及びアイザック商會は千八百七十一年以來、一年は現金に依り、一年は株券に依つて分配を行ふて居る。倫敦なる、メーロボクタン瓦斯會社は、千八百九十四年より利益配當率を五割引上げたが、此増率を受くる條件として分配額の二分の一を會社の株に投資せしむる事とした。此の案の提出後十二ヶ月間に全労働者

の八割五分は同意し、間もなく全部の参加を見た。當時、會社の資本金中、労働者の投資額は僅かに五千磅であつたが、千八百九十九年には八萬磅に達した。その内、五割五分は此の方法に依つて強制されたる投資である。此の會社は常に六七千人の労働者を使用して居る。

此の方法の利益分配も、稍もすれば混同されるものは、資本家が、便宜を計りて労働者に株券を購入せしむる事である。例へば米國オハイオ州、アイボクテールなる、プロクタ―、エンド、ガンブル會社が多年行へるが如く、労働者の希望に應じて、會社が労働者の名義の株券を購入し、月賦にて償却せしむるが如きものであるが、これ等は購入の便宜を計るまで、利益の分配ではない。

以上の三方法、其の長短は種々に論ぜらるゝが、本來斯かる労働者の精神を束縛して、自己の意のままに動かさしめようとする資本家の便宜より出でたるものであるから、その點より觀察して、束縛力の優れたる可き、貯金に依るものこそ權利に依るものこの方法が望まらるべき筈である。而も、そは、労働者の變轉常ならず、企業の伸縮を必然とする現生産界

の趨勢に一致せず、労働者をして一種の不渡手形を示さるゝの感を抱かして、切角の妙策が効力極めて少ない事になる。千九百〇三年、英國に於て利益分配を行ふ事業の數八十五個、その内現金を以てするもの六十個、一部は現金に依り、一部は株券に依るもの十五個であつた。千八百九十二年佛國にては總數百七個の中、現金を以てするものは僅かに二十九個、株券を以てするもの三十四個であつた。

分配の計算法

分配すべき利益を見做す金額は如何にして決定するが、普通行はるゝものは、總收入の中より、營業經費、資本利子等を控除したる残額より計算する方法であるが、時として、金利を控除せざる事もあれば、最低積立金と稱して、一定金額を總收入中より必ず控除する場合もある。又年々同一率の分配を行ふ事に定められたる所もある。労働者の賃銀年收、株主の所有株價に同一率の分配を爲すものもある。プロクタル、エンド、ガナル會社の行ふものはそれである。又、總收入より總經費を控除して残額を純益金と見做

し、それを三等分して各々、資本家、經營者、労働者が分配するものもある。米國セントルイス市なるエヌ、オー、ネルソン會社の創始したものである。

労働者一人の分配額の決定は、最も廣く行はるゝものは一年分の賃銀額に正比例せしむるものである。又勤続年限、地位、技能、賃銀額等に應じて差等を附するものもある。巴里オルレアン鐵道會社に於ける、従前の組織は労働者を三級に分ち、一二級の者に先づ分配を行ひ餘剰ある時にのみ三級の者に分配するのである。

第七講

消費組合

意義

消費組合の意義に廣狹二義あり。

狹義のものは消費者として一般國民が組織し、小賣商店の機能を営み、小賣商店の營利に依る消費者の苦痛、損害を除かんとする組合である。廣義のものは、更に進んで其の機能を、卸賣に及ぼしたるもの、及び生産にまで延ばして消費者が自給自足を営まんとする組合である。

現在の社會に於ける、一切の生産及び生産品の分配は、主として企業資本家が營利の爲めに營むものであつて、是等の生産品を消費して生活するには、自然營利資本家の犠牲を

……(合 組 費 消)……

……(90)……

ならざるを得ない。之を避けんが爲めには、自ら企業資本家の營む所を行ふの他はない、是が消費組合の發生した一般的理由である。

然れ共、所謂狹義の小賣的のものは著しく發達したに拘らず、卸賣のもの、特に生産を經營するものは、極めて鮮いのである。之れは、現産業界の資本集中、随つて、生産には大資本を要する趨勢に對して、大資本を整備する能はざる消費組合としては當然の事である。次に述ぶるが如く、英國にて行はる消費組合の生産も、小資本にて起し得べき特殊貨物の生産に局限せられて居る。恐らく今後も亦、消費組合は狹義のものに終止するの他はないであらう。若し巨大なる資本を消費組合に投じて生産を行ふものがあるとするれば、それは必ず一般卸賣及び他の消費組合に製品を販賣する事となるので、既に消費組合の本質を失ふて居る。亦消費組合が社會組織改造運動の主体となるこの見解も、久しく唱へられて來つた所であるが、それは既往の事實に徴するも、理論より考察するも到底不可能である。蓋し、消費組合を組織する目的は、眼前の自己の幸福を一步増進するにある。然れども社會組織改造の運動は、將來社會に對する智識的要求に基くものであつて、眼前の自己

……(合 組 費 消)……

……(91)……

の爲めより言へば、寧ろ損失を招く場合をも豫期しなければならぬ。之を個人の慾望より言へば、消費組合運動は經濟的慾望に立脚するも、社會改造運動は主として優勝的慾望に準據する。兩者は全然、心理的動機を異にして居る。此の矛盾は消費組合の社會組織改造の運動に向ふ事を不可能ならしめ、此の點に於ける消費組合の價値は絶無であると言はなければならぬ。之を要するに、消費組合の現社會に於ける意義は、主として小賣商人の機能を營む事であり、卸賣の機能にまで及ぶ事は相當困難にして、生産を經營する事は殆んど不可能なるべく、社會運動の主体たる事に對しては全く絶望である。

經

營

取扱商品は、生活用品に限らる、事が原則となつて代金支拂方法は主として現金取引である。日本に於て行はる、掛賣、或は前納等は極めて稀なる例である。取扱品の代價決定に就ては、原價、即ち實價に依るもの、一般市價に隨ふもの、兩者を折衷せるもの、三種ある。原價主義は購買と同時に利益を感じる譯にて、一般市價に依る販賣は、一定期

間毎に利益を計算して會員に配當する。折衷的のものは、市價より幾分安く、且つ幾分の配當が得られ、消費組合の思想の幼稚なる社會には歓迎せられる。又利益の配當は、その期間に於ける各會員の購買金額に比例して行はれ、英國、獨逸、伊太利等の如く現金に依るもの、白耳義、佛蘭西等の如く購買切符を用ゆるものがある。

會員は同一地域内に居住する者、同一生活程度の者たる必要がある。一工場の労働者のみに依つて組織さる、もの、如きは、此條件に最も適したるもので、物品配給の手續、需用品の一致する等に便宜が多い。組合の經營者は、會員相互の選舉に依つて決定する事を原則とし、随つて各會員は、原則上公平なる選舉及被選舉の權利を持つて居る。されど既往の日本に於けるが如く、組合觀念の幼稚なる社會にては、主唱者が永く經營者たる事も鮮くなく、甚しきは商人が消費組合を經營し、幾分の薄利に甘んじて、而も賣上の巨大なるに絶大の利益を得つ、あるものもある。又、日本の大工場にては、工場經營者が併せて消費組合を經營し、使用人を強要して入會せしめて居るものもある。是等は何れも眞の消費組合を以て目すべきものではない。

沿革及現状

消費組合の最も早く行はれたるは英國で、それに次ぐは獨逸である。英國にては十八世紀の末葉、ナポレオン戦争の影響を蒙りて、パンの騰貴甚だしきに際し、一七九五年、(Anti-Antitrust Society) なるもの設立せられ、其の後二三の類似のものが出来た。是等は消費組合の鼻祖とも言ふべきものであるが製品を組合員外に販賣する事をも目的としたもので眞の消費組合ではなかつた。次いで一八二〇年頃よりロバートオーエンが宣傳の影響を受けて組合の設立流行し、一八三〇年にはその數二百五十餘に達したが、是等は何れも消費組合に對する眞の理解に基いたものでなく、一八四〇年前後までは殆んど全部が消滅した。

現在の意味に於ける消費組合は、一八四四年に創始計劃されし、ロッチデールバイオニアに始まつた。ロッチデール組合の主旨は、利益を配當する消費組合であつたが、時恰かも労働者が政治運動の無力を意識した時であつたので、其の趣旨に據る組合は忽ち全國

……(合 組 費 消)……

……(94)……

に普及した。一八四六年に法律上正式の許可を受けて以來、法律は種々組合發達に通する改正を重ねた。一八六〇年には後に述べる、卸賣組合の萌芽を生じ、相併んで漸時發達を續けて來た。その發達の跡を、英蘭及ウエトリスに就て見るも、一八八一年には組合數七八〇、組合員數四十七萬餘なるに對し、約二十年後の一八九九年には、組合數一、一三四組合員數百三十三萬餘に達して居る。

一九〇〇年以後、小さき消費組合は合併するの傾向を生じた。一九〇六年にグレートなる大全組合を統一して中央集權の下に經營する事の有益なる事を唱導したが、未だ實現を見るまでに多くの賛同を得て居らぬ。

消費組合の英國に於ける最も著しき特徴は、卸賣及び生産を營める、こゝに所謂廣義のもの、他の國に比べて最も著しく發達せる事である。一八六三年マンチェスターに設立せられたる英蘭卸賣組合は、一八六九年グラスゴーに設立せられたる蘇格蘭卸賣組合は此の種の消費組合の嚆矢にて、爾後之に倣ふもの各地に生れた。之等の卸賣組合の最も普遍せる組織は、各小賣組合が組合員數に應じたる額を出資して基金を造り、經營は五百人

……(合 組 費 消)……

……(95)……

に一人の委員の手に委任する。委員は年四回會議を開き、重要事項を協議する。是等の卸組合は、始めは他の生産品を購入配布して居たが、漸く自ら生産を營む事となつた。則ち英蘭卸賣組合は、一八七三年靴工場を設けて以來、生産を菓子、石鹼、蠟燭、漬物、煙草羅紗、家具、印刷物等に及ぼした。一九一〇年には各種生産に使用せし資本金總額二、六七七、〇〇〇磅に達した。汽船四隻を所有し加奈太、北米合衆國、暹馬、獨逸、佛蘭西、西班牙、瑞典、希臘、濠洲等に出張所を設け、印度に茶園、愛蘭に牧場を有し、又一個の金融機關を經營して居る。斯くして消費組合の活動範圍は著しく擴大せられたが、こゝに注意すべきは、是等の生産が何れも比較的小資本を以て營まる、ものゝみである事である。又かゝる消費組合の機能上の發達は、英國特有の事で、獨逸の消費組合が一九一〇年始めて石鹼工場を設けたる他殆んど其の他の國にては見る事が出来ぬ。思うに英國は尢大なる殖民地を有し、資本家は大市場をその方に所有するが爲め、國內の物價下落し難き事は、偶々此の種の消費組合をして活動の餘地を得せしめたのであらう。

獨逸にては、消費組合發生の初期、論理上より之を否定するラサールの思想勃興して其

の普及を妨げ、消費組合は却つて中流階級に迎へられたが、十九世紀の中葉大工業の發達せるに應じて、英國の消費組合思想の輸入あり、一八八九年に組合員の無限責任を規定せし、法律改正せられて益々發達を促がし一八九〇年代より益々盛んになつた。一九〇二年クロイツナツハの組合會議にて、古く發達せし中流階級の分子ミ、新興の労働階級の分子ミの間に分裂を來たし、翌三年労働者の組合は中央聯合會を組織し、之等の變化も亦消費組合勃興の動機となつた。然れども前述の如く獨逸にては組合の機能上の進歩は容易に見る事が出来なかつた。

佛蘭西國にても近世に至つて發達し、一九〇〇年には千四百二十三個、一九〇七年には二千百六十六個の消費組合が設立されて居た。此の國に於ける特徴は燒麵麴製造の組合の多い事で全組合數の半數に近い。

(以下十二行削除)

日本に於ける消費組合は労働階級の自覺に基き自動的に生れ出でたるものは今に至るも未だ存在せず、明治二十四五年の頃より品川彌次郎、平田東助の二氏が産業組合の設立を唱導し三十三年産業組合法が發布され、三十九年には信用組合が消費組合及び其の他の組

合を經營する事を公許され、漸く其の發達が促されて來たが、前々の如く未だ眞の發達を見ない。最近に到つて、世界大戰の影響に依る物價の暴騰に刺戟せられて消費組合の設立旺盛を告げしが如く見へたが、多くは商人が營利の一束として消費組合の名を用ひ、幾分の薄利を忍びて多賣を計らんが爲めに認めらるゝが如きものである。大工場、殊に官營のものにて、所謂労働者福利増進策の一個として其の使用人の間に消費組合を稱するものを設けたるもの鮮くないが、其の多くは官僚的の經營にて、入會を餘儀なくせしめらるゝもの、所謂會員中には、會員たる事に不平を抱けるものも鮮くないが如き奇觀を呈せるもの多い。斯かる事情なるが故に、日本に於ては消費組合の眞價は未だ實現して居らぬ。

消費組合

第八講

生産組合

意義

……(合 組 産 生)……

こゝに述べんとするは、無産労働者の組織する生産組合に就いてある、労働者が賃銀を取つて傭はれて居つては、企業の利潤は素より全部資本家の所得となる。労働者自身が企業を經營すれば正當の賃銀の他、資本家の利潤に相當するものを、又自己の收入とする事が出来る。生産組合の主要なる意義はこゝにある。

生産組合の社會改良上の能力は、それが理想的に完全なる状態に於て經營せらるゝ時は組合員間に於ては、相當に有益なるものであるが、若し組合經營の工場にて組合員以外の労働者を使用する場合は、一個の雇傭關係を成立する事となる。故に生産組合に依つて利

……(100)……

……(合 組 産 生)……

福の増進が計らるゝ者は、組合の成員のみである。随つて之を社會全体の改良の上より見る時は、かゝる組合を組織し得べき労働者の數が如何に多いかに依つて其の價值が決定せらる可きものである。然るに産業界の現在の趨勢は、資本の集中と企業の合同とに依りてすべての産業の所要資本は漸次増大し、小資本の産業は漸次大資本に壓倒せられつゝある随つて無産の労働者が、零細なる金を集めて資本家の中に加はる事は漸次困難の度を高めつゝある見做さなければならぬ。それで、生産組合の吸収し得る労働者の數は、今後極めて鮮なくなるであらう。故に社會改良の上に於ける生産組合の價值は甚だ低い事となる

組織

國に依り、亦組合に依り、其の組織は種々多様であるが大體共通せる所は左の如くである。(一)管理者は労働者の中より選任するか、又は銓衡委員の協議に依つて雇ひ入れる。(二)労働者はすべて一定の賃銀の支拂を受くる。(三)資本に對して支拂ひたる殘額の利子を労働者の受取りたる金額に應じて配當する。(四)業務執行委員、監督者に對しては普通賃銀

……(101)……

の他、多少の報酬を支給する。(五)収入の中より救済基金、教育基金等の積立をなす。

佛蘭西に於けるコータンストープ工場は、一八八〇年コータン氏が死去するや、其の遺産の全部を其の労働者に與へて生れ出でし生産組合であるが、其の組織は利益の總額を十二個に分ち、其の五を労働者に、四を資本に、三を業務執行員に分つ事になつて居る。

米國のロチエンター市に於ける寫真器具の金具磨き上げ作業に従事する生産組合は、始め三十四名の職工が各一千弗の資金を醸出して組織したものであるが、組合員が脱退する時は、組合が脱退者の持株の先買權を有して居る。一般事務は九名の理事に依つて處理され、成員間の苦情は三名の主任に依つて解決される事となつて居る。

沿革と現状

生産組合の最も早く組織せられたるは英國で一七七七年、パーシingham州に於ける、同盟罷工中の被服職工が計劃したるものが、記録に存する中にて最も古い。其の後、生産組合は漸く普及したが英國に次ぐ盛んなるは佛、伊の兩國で、米國にても最近に到り發達し

た。其の他の歐洲各國にては未だ見る可きものがない。

英 國——英國にては一八八四年の交、生産組合の發達を計らんが爲めに、労働者共同作業協會 (The Labour Co-operation Association) なるものが組織せられた、協會の仕事は一方に於て生産組合の組織を宣傳するに共に、他方其の組織に助力を與ふる事であつた。又、既存及新成立の生産組合を叫合して自ら聯合機關となつた。一八九三年に協會に屬する組合の数は七十七、一九〇六年には百三十二に及んだ。是等の中にて最も有名なるはワルサス金物製造組合、ケテルリング衣服製造組合等で、前者は一八七三年、ストライキの結果生れたるもので、現今では錠前、鎖等の製造業者としては屈指のものである。營業者たる業務執行員は組合の被傭人で、組合員たる労働者は高率の賃銀の外、五%乃至一〇%の配當を得て居る。ケテルリング衣服製造組合は多くの消費組合の援助に依つて維持されて居るもので、現在英國に於ける殆んどすべての消費組合は此の生産組合の株を所有し、同時に其の製品を引受け、業務執行の上にも發言する。此の點より見る時は、純然たる生産組合と稱するよりも、消費組合の共同經營に係る生産組合とも目する事が出来る。

……(合 組 産 生)……

英國の生産組合はすべて労働組合と關係深く、労働組合は一体に生産組合に對して原意を抱いて居る。此の點は佛蘭西と全く趣きを異にして居る。

一八九三年、労働者共同作業協會に屬して居た百三十二個の組合に就て産業部門別を見るに、左の如くすべて高額の資金を要せざるもの、みであつて、生産組合が大組織の企業と併び進む能はずして大資本の經營より漏れたる部門に於てのみ可能なる事を示して居るものご解せられる。

建築、木材等	三二	機械業	二〇
製靴、革皮等	一七	農業	一七
印刷	一四	金物	一三
其他	一九		

佛國——佛國にては、一八五〇年前後に於いて、既往の生産組合は全滅したが、失敗の原因の一つは政府の保護の度を超へたるにあつたので、其の後獨立自營の方針の下に漸く回起し、一八七〇年頃には九十個内外に一度は達し、其の後一八八四年労働者組合協會

……(合 組 産 生)……

が組織せられて聯合機關となり一八八八年には百九十八の組合を叫合するに到つた。最も主なるものは、一八八八年にコトタンなるストープ工場の持主が遺産全部を被傭労働者に與へて生れたる、コトタンストープ製造組合、一八四八年より連續し來れる、眼鏡製造を營めるルネテール組合及び馬車車掌組合の三個である。

此の三個の組合は佛蘭西に於ける全生産組合の營業額の約二分の一、營業資金額の約四分の三を占めて居る。

一九〇五年に於ける三百三十八個の生産組合の生産部門別は左の如くで、英國と同様大資本を要する種類の企業は含んで居らぬ。

農業、林業等	一五	食料醸造業	九
化學的製品	七	書籍紙類印刷	三三
製靴製革	二五	機械衣類	二四
金物	三六	木材	二八
建築	一一二	石鹼硝子	一三

佛國には労働者生産組合銀行なるものがあつて、組合に低利資金を供給するの他、政府も無利子資金の供給、優先的に政府事業の請負を爲さしめ又製品を政府が購入する等の便益があつて生産組合の發展が助長されて居る。

伊太利——に於ける生産組合は一八八〇年労働公益組合とも稱すべき、労働力を提供する所の一種の生産組合が組織せられた。商品を生産する生産組合は、其の後拾年を経て成立し、印刷、陶器、硝子、麵粉等の製造に及んで居る。中にも麵粉を作るものが最も多い公益組合は組合員の持株一株、百リラにて、普通一人一株に限られて居る。組合員は組合の契約せる労働に従事する事となつて居る。利益金は二分の一を基金に積立て二分の一を分配する。

伊太利生産組合の特徴を目的す可きは、すべて労働者の創意に基けるものにて、且つ社會主義の色彩を帯びて居る事である。

米 國——米國にては一八四四年、ボストンに裁縫工組合が組織せられたるに始まり、

……(合 組 産 生)……

……(合 組 産 生)……

一八八〇年前後より急速なる發達を示し、マサッチエッツ州のみにも、二十五個、其の資金十五萬弗内外に達した。當時に於ける生産組合の發達の最も主要なる促進者はナイト、オブ、レーボアミ同盟罷工であつた。ナイト、オブ、レーボアミ、マサッチエッツに靴生産組合を、アナボリスにペンキ塗、建築の組合を、其の他、衣服、煙草、鉛工、印刷、鑛山、等の生産組合を設立した。而し何れも短命にて倒れた。

現在米國に於て、最も古く、且最も著大なるものは、ミネアボリス市の樽製造組合である。一八六八年に創設され、幾度か蹉跌したが遂に成功し、規律の嚴肅な賃銀の高率を以て聞こへて居る、其の他の二個の樽組合の生産額合計、年に五十萬弗を超へて居る。組合員の持株は原則上各人同數である。其他、聖路易市の製材組合、ロスアンゼルス市の洗濯組合等は比較的顯著なるものである。ロチエスター市の寫真器製造會社内に於ける、金具作業の組合は、初め職工が各々一千弗を分擔して創始せるもので初めより成績よく、組合員の収入は普通賃銀より約一割高い。

其の他の各國中、和蘭には一九〇二年、百十三個の生産組合(内五十五個は麵粉製造)が

あつた。獨逸には一九〇〇年に百九十三個の生産組合が存在して居た。其の他歐洲各國、何れも幾分の發達を見つゝある。

將 來

現在に於ては、各國共に生産組合は發達して居るが、將來は果して如何になるか。現在生産組合の經營に伴ふ最も主なる困難は、一、經營事務執行者の適任者を得難き事、二、資金の少なき事、三、製品賣却の困難なる事の三點である。今後生産組合の盛衰を決定するものも亦之等の條件であらう。是等三個の中にて、最も決定的なるは、資本の不充分なる一事であらう、優良なる業務執行者を得るの困難も、市場に對する支配力の薄弱も、結局は資本の不充分に歸因する。而も資本力の缺乏は既述せるが如き、資本集中の趨勢に依つて益々相對的に甚だしくなる。即ち一生産部門に於て從來は普通なりし資本額も、更に大なる資本の所有者が其の生産部門に侵入し來る時は、忽ち不充分なる資本となり競争に敗北するの他はない。然るに産業界の大勢は、資本集中にあつて、大資本は中資本を、中

資本は小資本を、壓迫し驅逐し、驅逐されたる資本は一段低き資本の部内に流れ込む事に鑑みれば、生産組合も亦、將來比較的大なる資本の競争して來るに會する事明かである。されど生産組合が利潤を蓄積して資本を増大し、斯かる競争に打ち克つて行く事は困難である。随つて資本の缺乏は相對的に益々甚だしくなるの他はない。之を思へば此の點に於て將來生産組合の經營は益々困難を増大するを窺ふなければならぬ。況して説き來たるが如く、生産組合の營める生産は資本の大なるを要せざるもの、みであつた事は益々その將來を悲觀せしむべき事なる。

現在の社會は大資本家と無産労働者との二つに分れつゝある。生産組合の如きは、所謂中流階級の地歩を形造り其の明かなる對立を緩和すべき機能を有するものである。故に其の將來の運命が益々發達すべきものであれば、その力に依つて全社會が二個の階級に對立する趨勢を阻止し得るであらうが前述の如く、其の將來は資本力の缺乏に依りて悲觀せらるべきであるから、この點に於ける期待も甚だ薄弱なるものである。

第九講

婦 人 問 題

第一章 婦人の社會運動

歐洲大陸に於ける婦人の社會運動即ち婦人の法律、産業及び社會上の状態に於ける進歩に對する運動は、英米兩國に比し稍々晩近の事柄に屬してゐる。之は西歴一八六五年乃至一八六六年に始まり「社會科學に對する内國協會」を稱して、其の最初の總裁をウキルヘルム、エー、レッテミシ、多數の婦人に依つて組織せられたるものであつた。

産業的方面

當時婦人の智力は男子と拮抗す可く稍や其の準備の劣れる事が婦人側の氣附く所となれ

る爲め、先づ最初の運動は産業上の争闘に於て最も熾烈なるものがあつた。

第一は農事と家屋産業であつて、獨逸に於て急激なる賃銀労働婦人の増加が現はれ、未婚者たる未婚既者たるは問はず、夫々便宜なる職業に従事して居つたのである。即ち此等の婦人は一八九五年に於て獨逸全賃銀労働者の二五・七パーセントを占めて居た。要するに獨逸は高級なる文官を除いては、凡ゆる門戸を婦人の爲めに開放してゐた爲めに、種々なる職業を通じての婦人の働き手は夥しき數に上つて居たのである。亦隣國の佛蘭西も略ほ之れに似た傾向があつて、殊に女教員の割合は獨逸よりも更に大なるものがあつた。伊太利は織物業に従事する婦人が取り分け多數を占め、恰も婦人に依りて獨占せられたる觀を呈して居た。

日本に於ても婦人店員の數に於て近年著しく増加の氣運に向つて居る。

瑞西國も亦、農業及び工場其の他の方面に婦人の活動を見、二十世紀に入りて其の數の増加したる事は著しいのである。

一般に◇人をして職業上男子と競争せしむる爲めには、婦人に對して特種の職業教育を

授くるの必要ありし、歐洲各國は相競ふて之れが施設を怠らなかつたやうである。

職業的方面

醫學は夙に歐洲の全土を通じて婦人に對して開かれて居たが、就中露西亞に於ては其の最大數を有してゐた。但し法律に關する職業は二三ヶ國を除き婦人に對しては閉鎖されて居つたのである。

瑞西國は十九世紀の末葉より婦人醫術研究者が少からざる數に達してゐた。而して大學に於ても此等の聽講者は多數を占めてゐた。

佛蘭西は一八六八年より巴里大學に於て婦人の爲めに門戸を開放し、主として醫術の聽講を許した。一九〇七年に於ては佛國の各大學を通じ二千五百人の婦人學生があり其の法律を研究せる者百廿四人、醫學七百九十六人哲學千百〇五人の割合であつた。

瑞典、丁棟、芬蘭、伊太利、白耳義、諾威、西班牙、ルーマニア、希臘、匈牙利、埃太利等の諸國が相次で佛國の制度にならつた。

露西亞は一八七六年に於て始めて婦人に醫術の講義を許した、そして獨逸が之に倣ふて婦人の聽講生を差許すの制度を布いた。其の後獨逸に於て大學の發達に連れ露西亞の婦人學生が此等の大學に遊學する者多きを加ふるに到り、露本國に於ける婦人の醫術教育は一時、自然消極的を成つて了つたやうである。

和蘭は調劑術の課程を婦人に許して居た。

次に歐洲に於ける徳育の方面は獨逸を筆頭として瑞西、羅馬等に於て獎勵したる結果、婦人の地位も從つて向上し、男子と同等なる自由業に従事するの機會が與へられてゐた。次いで法律上に於ても婦人の權利が認められるやうになつたのである。

第十九世紀の終りに於ける獨逸の聯邦法規に據れば婦人の爲めに勞働時間を限定せる外彼等の職業上の地位に付いても相當の考慮を費した跡を見受けられる。

第二章 婦人の參政權問題

先づ米國に於ては國內四洲を限り婦人に男子と同様の一般參政權を附與し、其の他の諸

州に於ては婦人に對し特種の參政權を附與したるものである。濠州にては十九世紀の中葉に於て婦人に市政の參與權を與へて居たが、其の後男子と同様なる投票權を認められる、に到つて居る地方が尠くない。佛國は一八九八年に於て、商業従事の婦人に限り、商事裁判所の制事に對する投票の權利を與へた。諾威にては幾分にも収入ある婦人全般に對して、代議士以外の役員投票の權を附與した。露西亞に於ても選舉官吏に對する投票權を家庭の主婦に授けたものである。亦フィンランドの如きは早くも議會に於て婦人の代議士が議席を占めて居た。伊太利に於ては財産を有する寡婦に限り代議士選舉の代理を務める事が出來た。ルーマニアの如きも婦人納稅者は市政に参加するの權限を有して居た。

右の如き成行を呈したる最大の動機を看做す可きものは過去に於ては、一九〇四年に於ける『婦人萬國會議』及び一九〇六年コッペンハーゲン市に於ける『萬國婦人參政同盟』の二個であつた。

次に婦人參政權問題に對する可否の論は、英國を初めとして米國其の他の諸國間に起り反對論の如きも詳細に亘つて其の結果の不可なる事を列舉して居つた。

要するに、本問題の經過は別して急進的なる物ではなく、近代婦人の法律上に於ける地位の著しく進歩せる事も、強ち此の婦人參政權問題に隨伴したる譯では無い。

英 國 之 部

英國は古代に於て婦人が男子と政治上の平等を有し、平時と戰時とを問はず一様に特權並に負擔を課せられてゐた。そして衆議院議員の選舉に婦人が與かつてゐた事も歴史上明かなる證據がある。

其の後かのジョン、スチエアート、ミルが議會に於て、婦人參政權問題の訴願を爲し、一八六七年に到り『家族參政議案』が時の政府に依りて提出さる、迄の運びに成つた。當時立法上の解釋は政治上に兩性の區別を置かなかつたが、裁判上の決定は婦人に政治上の機能認めなかつたのである。

一八六八年以後に於て、婦人參政權同盟が倫敦、マンチエスター其の他の都市に於て成立し、議會に向つて大なる氣勢を示すに到つた。併し權力者間に多大の反對があつた爲め

該運動は奏功せずして経過した。近年保守党内閣に際し、衆議院は多数を以て婦人参政議案を通過したが、是亦挫折に終つたのである。

一九〇三年『婦人の社會及政治同盟』が現はれて、此の運動に相當の力を寄せた。次いで自由党内閣當時に於ける婦人参政權運動は可成り猛烈に開始された。就中一九〇七年の議會開會に際し前記の『婦人の社會及政治同盟』に屬する婦人連は倫敦に於ける議事堂に殺到し警察官と衝突して多大の負傷者及拘束者を出したる事は、如何に當時の運動が白熱的であつたかは充分に窺ひ知る事が出来る。爾來幾多の曲折があつたが、本問題が早晩實現せらる可き事柄であることは深く世人に感知せられ、即ち該運動の結果は大不列顛國の婦人に参政權を與ふる事が聽て完成したる事實となつて現はる、事を疑ふ者が殆んど無いやうになつたのである。

米 國 之 部

婦人の政治上の權利に關する争闘の歴史は、米國の革命の端が一七七六年であつたが如

く、西曆一八四八年の事であつた。同年婦人權利會議があり、同問題の爲めに獅子吼する者が現はれた。之は一七九〇年倫敦に於て發行せられたる『リリー、ウォルストンクラフト嬢著』『婦人の權利擁護』其の他に依り刺戟され來つたものであつた。蓋し十九世紀前半に於て婦人に對する社會的宗教的及び政治的平等を唱へ此の會議に向つて先鞭を附けたる人物には教育方面に於けるエンマ、ウキラード氏を始めとして當時錚々たる人々が少なくなかつたのである。亦一八四〇年倫敦に於て開催せられたる『世界反奴隸大會』に際し、米國より多数の男女有力者が参加して、黒奴の自由を叫ぶと同時に婦人の地位並に權利に就て提唱せる事も亦前記の會議招集に對して有力なる動機であつた事は決して見逃す事は出來ぬ。

一八四八年に於ける會議は有繋に盛なるものであつたを見へ、婦人の虐けられし事實十八箇條を列擧し、最後に次の二箇條を決議するに到つたのである。

第一條 社交上の禮儀は男子も婦人も同等たる事、而して之に違反する者は男女均等に罰せらる。

第二條 選舉權の確保は米國婦人の義務たる事。

一八四八年以來、婦人の參政權の辯護に對する仕事は漸次其の要求を具体化し來り、此の結果として全國に亘つて協會の組織を見、果ては國會に迫りて米國憲法の改訂をも促す迄の段取りはなつた。就中一八六九年紐育に組織せられたる内國婦人參政協會の如きはエリザベス、カデイト、スタントンを總裁に仰ぎ、主として立法府に向つて其の目的を達するの努力を敢行した。

斯くして、ウオーミングにおける憲法は一八九〇年婦人の選舉權を男子と同様に確定した。即ちウオーミング州は婦人參政權旗の翻る最初の眞の共和國であつたのである。次いでコロラド州では一八九三年に婦人參政權を議會の多數を以て通過した。又ユータ州にては一八八七年まで婦人に對する全選舉權をば地方議會に依つて協賛を経たる歴史が残つて居る。

尙ほ婦人に對し限定したる參政權を認めたる地方にはカンサス、ケンタッキー、ルイジアナ、モンタナ等の諸州がある。例へばカンサス州の如きは婦人に市政參與の權のみを與へ

たるに依り、當時十四名の婦人が小都會の市長として選ばれたる事があつた。爾來本問題は男子側の反對あるに拘らず、早晚全米國を通じて法律となつて現はる、時期來る可しとの豫想を以て經過して來た。

第三章 婦人の勞働組合

英國之部

英國に於ける此の種の勞働組合は第十八世紀の初期に起り、其の以前に於ては多大の壓迫を感じたる爲め、之に對して勞働者の結合が持續されなかつた。第十八世紀に於ては洋服職工、機械等の勞働者に依り自己防衛の爲め勞働組合の行動を採つたように聞いてゐる既に第十八世紀の初期に於て一般勞働狀態に區別的の變化を生じ、勞働者の階級中に單に既製品の生産に於ける一定の分前を引受け得たるに過ぎぬ者が發達し掛けてゐた。例へば洋服業に於ける裁方、縫方の區別の如きものである。而して此れ等の區別的勞働に従事す

る職工は相共に一つの雇主に従屬して協同的に一定の仕事を完成せねばならぬ立場にあるが爲めに、一つの洋服店内にある此れ等使川人の利害關係は略ほ同一である。謂はねばならぬ。斯くて初期の労働組合が彼等の苦痛を救濟せんが爲めに之れを法律に訴へんことをやう其の萌芽を發したのである。即ち最初より労働組合なるものは成立せずして、初め法の力を以て政府の保護の下に相當なる賃銀の割合を獲得せんとした事が彼等の企であつたのである。

其の後機械力の發明進歩を見るに共に、一般労働力も世間に大いに認められ、一方労働者の自覺と相俟つて彼れ等の地位は益々向上して行つた。但し労働者の地位が向上し、労働組合組織が實現するに共に、労働者の首領に對する迫害は何時も甚だしく、従つて當時の組織は祕密の組合として默契の裡に行はれたやうな有様であつた。然るに十八世紀以降資本と労働との區別明瞭となり、所謂近世の労働組合運動が熾烈なるに連れて、國內の賃銀労働者階級の聯撃を促進するに至つたのである。

以上の如き、組合運動發達史中に於て、婦人は、一八二七年中綿紡工の大なる組合が英

國に於て成立したる當時、既に婦人及び少女等は此れ等の紡績工に依りて別に組織を形成す可き事を強制せられたのであつて之を英國に於ける婦人の労働組合の嚆矢とする。要するに、婦人も男子と同一なる産業上の利害を有すこの根底を承認され、當時のランカシャール組合の如き約十萬人の婦人を以て見事に組織されて居たのである。是れ蓋し世界に於ける婦人労働組合の選手續を振つたものとして稱されて居る。

次いで永き經驗の結果として、婦人も男子と共に組合を形成するの策が主張された。乍然婦人のみの純組織は、寧ろ零細工業に於てのみ成功せる實現を見たのである。茲に聊か珍むべきは男女混合の巻煙草製造人の組合に於ては婦人のみが率先してポイコットを演じ、總て組合の牛耳を執つた事がある。

當時五百萬人の總組合員中、婦人は十四萬人に過ぎなかつた故、敢て大なる割合とは謂へぬ。婦人は結婚問題等の爲めに永く組合の中に活動し得ざるが爲め、該組織上常に多大の支障が伴つた、併し之にも拘らず最近に到る迄の婦人の組合組織は著しき進歩を遂げ、種々なる方面、種々なる職業に於て智識ある婦人の組合員が其の運動の爲め力を竭したの

である。過去に於ける英國の婦人労働組合のオーソリテーターは「婦人労働組合聯盟」の創始者バスターソン夫人及び之が補助者たるデイルク嬢であり、其の後に聯盟秘書役たりしマカーサー嬢の如きがある。

米 國 之 部

米國の労働組合中に婦人賃銀労働者の出現したる事は、二十世紀初年の頃にて、其れは夥しき數を以て組織せられた物であつた。米國に於ける、工場生産の初期の時代に於ては婦人は時々ストライキに加はつて居た、併し當時の行動は大部分政治的であつたが爲め勿論少女の階級が之に参加して積極的關係を結び得なかつた事は明かである。之は産業が完全に家庭外に取出れた前、即ち工場組織が社會的に認められるように成る迄は、婦人は賃銀労働をば一時的の職業と看做し、寧ろ之を回避するの傾向があつた。米國に於ける産業組織中に婦人労働者の地位が認められたのは十九世紀の末葉にも近き頃であつて、「米國労働同盟」の組織せられた當時には、相當に其の人員も該組織中に見出す事が出来た。

此の「米國労働同盟」は國內に於ける小工業の全組織と見る可き物であつて、此の他に三種の労働組織系統の存在を見たが、特記すべき程の事柄が無い。何れにしても此等の組合中には婦人を包含せるが故に婦人に就いて語らざれば該組合の全約を知る事が出来ぬ。

第一に、婦人の數が男子に比して少數であつた事である。殊に小工業以外の組合に於て此の傾向が著しい。例へば陶工の如き、六千〇五十人の組合員中婦人は僅二百五十人であり、給仕人の如きも四千八百人中六百五十人に過ぎなかつた、少女の如き殊に新職業に向つて轉々する傾向ありし爲め、組合に對して重きを成すこゝ杯は到底不可能であつた。

次は婦人労働者が男子職工と直接競争の地位に立ち、組合員中に重きを成した事であるが斯かる組合は決して其の數に乏しくなかつた。矢張り男子に對して從屬的であり、かの植字工等としてみても婦人は男子に比して敏捷ならざりしが爲め、兎角男子に比し低廉なる賃銀を支給され延いて兩者の間に良好ならざる感情を誘致し、之れが爲め組合組織の進歩を妨げた事は争はれぬ事實である。之に反し製靴業は賃銀の高率なりし爲めと閉鎖せる室内の作業に依り、婦人を集成する上に於て成功し、該組合員中約三分の一が婦人であつた

製本業に於ても之と同様であつた。又煙草工場に於ても同様の状態にして約五分の二が女子職工に依つて占められて居た、之は賃銀が男子と同一であり且つ密室内の作業であつたが爲めである。尤も當時『巻煙草職工組合』に加盟せざる所の多くの煙草工場在りて、組合規定以外の賃銀等級を以て男女の職工を採用してゐた向もある。其の他、貴婦人^{ガールズ}上衣組合、洗濯業組合等は組合員中に於ける婦人の地位が有力なるものであつた。

一般に、婦人の關係せる労働組織の大部分は、憲法に於て社會的の宣明あるに拘らず其の政策に於て保守的であつた事は免れぬ。該憲法中に於て婦人は男子と同等に投票の權を有し且つ役員となり得る資格を有して居た。唯組合の一般政略を決定する力は實際に於て微弱であつた。

此の如くして婦人の間に労働組合の進歩したるは男子の加入に依りて男子が婦人をば産業上有用なる分子として認識せる結果であつた。従來組合組織に冷淡なる婦人を組合に入せしむる爲めには貼紙政略等を講じた向もあつた。

併し未だ大体に於て婦人の地位は可憐の域を脱し得なかつた爲め、婦人職工の構成上に

支障を生じた。此の他、婦人の境遇上寧ろ社會的なる組合員としての活動を鈍らしめた事を見逃す譯には行かぬ。

孰れにせよ、強固なる組合に屬する所の婦人の賃銀は増加するに共に種々の特權と便宜とを有するに至れる事は争はれぬ事實である。

第一章 人口問題の總論

人口問題

第十節

第十講

人口問題

第一章 人口問題の概念

人口とは一定の地域に居住せる人員の數であつて、特に國家の全體或ひは一部分に就て用ひらる。蓋し人口に關する考察は行政上の必要より生じたるものにして、國家、自治体等は、行政上の社會團體なるからである。

人口問題は、大體人口の増加問題、人口の密度問題の二題目から成り立つて居る。人口の増加は所謂生物學的現象であるが人類の社會的關係は種々なる變化を人口の増加より起すに考へらる。社會進歩の根諦を爲す所の競争の如き、協力の如き主として人口の増加と相伴ふて行はれて居る。

……(題 問 口 人)……

……(126)……

人口密度の問題は人口と土地の面積上の比であつて、之を一國家に就て云へば、人口密度は其の國家の文化的發展の上に重大なる意義を有し、其の國民生活の内部に於ける、勞働組織、生産組織等に顯著なる關係を有して居る。随つて、その國家の現世界に於ける國勢的地歩の上に主要なる影響を齎らす事である。

人口の密度は如何なる原因に依つて決定せらる、かと言へば、略ぼ自然的原因と社會的原因とに分つ事が出来る。自然的原因とは其の地域の、温度、濕度、經緯度、土地の高低海岸線の長短、山脈河川の狀態、地質、富源の多少等であつて、社會的原因とは其の地域に於ける住民の風俗、習慣、法律、政治、生産制度、分配制度、土地所有制度、教育の普及程度、其の他一般文化内容の發達及普及程度等である。

次に人口密度問題は、一地域内特に一國家内に於ける各部分に就いて、其の各々の密度を比較し、更に其の相互の變化に就て考察する事が重要な事項である。此の場合に於て容易に發見さるべき著しき現象は、人口の都市集中の傾向である。

人口問題の諸部分中、社會問題として最も重要なものは何かと言へば、大體に於て人

……(題 問 口 人)……

……(127)……

口増加の一般的結果、人口都市集中の原因、人口都市集中の結果の三點に歸着する。人口の増加が、直ちに多數國民の貧困を招くこの法則的見解は先づマルサスに依つて提示せられた。其説の正否は兎もあれ、人口の増加と貧困との間に重大なる關係のある事は明かなる事實である。次に人口の都市集中の結果は、社會問題上の多くの提案を生起して居る。都會の人口過剰が、近世社會問題の本質とは云ひ得ないが、鮮くとも社會問題上の助勢原因として甚だ重大なる意義を帯びて居る。之に對して幾多の見解と政策とが生み出されて居るのであるが、それ等は勢ひ、人口の都市集中の原因より考察を始めなければならぬ。

一地域に於ける人口に關する調査は、一定の瞬間に於て人口状態を捉ふる靜的調査と、時間推移に伴ふ人口状態の變化の跡を見る動的調査との兩面より試みなければならぬ。靜的調査に依つて得たるものが人口靜態で、動的調査に依つて得たるものが人口動態である。人口動態は、一期間の前後に於ける靜態を基礎として知る事が出来る。社會問題の原理上の研究は主として動態を基礎として試むべきが、政策上の研究は主として靜態に依つて行はるべきである。

第二章 人口増加問題

人口の増加は生物學的現象として原則上人爲の如何にもすべからざる自然の運命である。マルサスは二十五年毎に倍加して行くこの獨斷の下に其の人口論を組成した。其後の批評に依つて、斯かる獨斷が事實上の根據を缺けるもので、學説として殆んど無價値に近いものとせられたが、二十五年毎に倍加するものではないにせよ、人口が全世界を通じて刻々増加し行く事は曠かなる事實である。

歐洲の主要七ヶ國に就て、一八〇〇年より一九〇〇年に到る百年間の人口増加は左の如き數を示して居る。(單位千人)

	一八〇〇年	一八五〇年	一九〇〇年	百年間の 増加率
獨逸	二四、五〇〇	三五、四〇九	五六、三六七	一三〇
奧地利	九、六〇〇	一二、八五四	一八、一〇四	八九
伊太利	一八、一二五	二三、九〇〇	三二、四四九	七九

瑞 西	一、七五〇	二、四〇〇	三、三二五	八九
佛 西	二六、九〇〇	三四、九〇七	三八、九六一	四五
英 蘭 及 ウ エ ル ス	九、二五〇	一八、〇〇〇	三二、五二七	二五二
露 西 亞	三八、〇〇〇	六一、〇〇〇	一〇三、二八〇	一八一
全 歐 州	一八七、三六三	二六七、四四二	三九二、九八八	一一〇

尙日本に於ける明治五年より四十二年に至る三十七年間の増加左の如し。

明治五年	明治二十年	明治三十年	明治四十二年
男	一六、五九六、一四四	一九、七三三、七三二	二五、三六七、〇三三
女	一六、三三四、六五一	一九、三三七、九九九	二四、八六七、四四四
計	三三、一〇〇、七九六	三九、〇六九、七三二	五〇、二三四、四七七

人口の増加の最も主なる要素は出生数が死亡数を超ゆる事で、移入の数が移出の数を超ゆる事が之に次ぐ要素である。地域の變化、即ち戦争に依つて領地の分割併合等の爲めに生ずる人口の増加(或は減少)は特別の場合であつて普通、人口に關する考察の埒外に置

く可きである。歐洲の主要國に於て、一八四一年より一九〇〇年に到る間に於ける住民百人に對する、毎一年の人口増加、移出入超過、入産超過の率を示せば次の表となる。

國 名	人口増加	移出の超過	出生超過
獨 逸	〇、九四	〇、一九	一、一三
埃 太 利	〇、七三	〇、〇三	〇、七六
伊 太 利	〇、六七	〇、一九	〇、八六
佛 蘭 西	〇、二五	(移入超過) 〇、〇四	〇、二一
英 蘭 及 ウ エ ル ス	一、二〇	〇、〇三	一、二三

之れに依れば、移出入の點に於ては佛蘭西の外、全部移出数が超過して人口を減ぜしめて居るに拘らず、出生超過数はそれを補ふて、全人口を増加せしめて居る。故に此の表に現はれし年代に於ては、出生超過は人口増加の唯一の原因を爲して居る。

人口の増加其の事が、國民全体に幸福を齎すべきものなるか否うか。アダムスミスは「總べての國家の繁榮の最も確實なる證左は其の住民數の増加にあり。」と云ひ、ピット

は「たゞへ其の全家族が窮民ならんとも、多数の子を生みたる人は其の國を富ましめたる人なり」と論じ、ゴールドスマスは「夙に結婚して多数の家族を養へる正直なる人は徒らに人口論を喋々せる獨身者よりは遙かに功勞多き人なり」との意味を述べたるが如き、何れも早くより人口増加を讚美せる評論家は多かつた。今日に於ては、人口増加は直ちに國富の原因なるが如くに一般に認められて居り、殊に權力階級に屬する者はすべて之を主張するもの、如く、各國政府は原則として墮胎、避妊を禁せざるはない。其の反動として起りたる新マルサス主義の運動に對して、各國の政府は何れも禁壓の傾向を示して居る。然れ共人口増加は果して國民全体の幸福なるか、又各國政府當局者が斯く明かに人口増加を促さんとするは何が故であらうか。

思ふに、資本主義生産の行はる、現社會に於て、資本家階級に對し人口増加は二個の役目を負はされて居る、一つは賃銀労働者を作る事であり、一つは兵隊を作る事である。蓋し資本主義生産制度の下にありては、労働者の労働力は一個の商品なるが故に、人口の増加即ち労働力の増加は、其の商品價格たる賃銀を下落せしむる事となり、労働力の購買者

たる資本家の直接の利益となる。是れ明かに資本家に取つては人口増加が有利なる理由であつて、随つて資本家の利害に従つて動く見做さる、政治家達が人口増加に努力する主要なる理由である。

又資本主義生産は必然に軍國主義を招來する。軍國主義を支持するは兵隊に依つて構成さるる物理力である。人口の増加は兵隊の増加を意味し、此の點より見るも資本主義者及び資本主義政府が人口の増加を喜ぶは又當然見做なければならぬ。但し軍國主義は必ずしも資本家のみ表裏するものでなく、資本主義の打破せられたる、現在の露西亞の如きに於ても軍國主義に支持されて居るを見れば、軍國主義の爲めに必要とせらる、人口増加は、資本主義生産の爲めに必要とせらる、人口増加の一元的根據に出づみなす見解には、幾分の修正を要する場合もある事となる。

それは兎もあれ、資本主義生産の國家に於ては、人口の増加は資本家階級に取つてこそ利益あれ、労働階級に取りては明かに不利益である。要するに階級的對立の存する限り、兩階級は事毎に利害相背馳する法則的原理は人口問題の上にも現はれて居るのである。

第三章 人口論

人口論(書名)は人口問題に對する組織的解釋を與へたる最初の學說として、有名なるマルサスの著はしたもので、一七九八年に第一版を出した、ゴドウィンが「政治的正義論」を出して人間性に對する來觀説を立て、「人間は理性發達の極點に達すれば、人間の行爲は純理性にのみ支配せられ、性慾の如きも適度の節制を保たれて人口の過剩は自然に防がれる。富は公平に分配せられ、労働時間は短縮せられ、黄金社會が出現する」と論じたるに對し、之を反駁する事に動機を得て、マルサスは此の書を著はしたのである。

其所論の要旨は、人間の生存には食物を絶対に必要とする事、人間の性慾は必然のものにて永久に發動を阻止し得べからざる事の二個の前程より出發し、人間の性交が自由なる社會に於ては、人口の増加率は二十五年毎に二倍し、幾何級數を以て進むと斷定さる、然るに此の人口を養ふべき食物は、如何に生産力を擴大すればもて二十五年毎に、最初の二

十五年の生産高相當量を増加し得るに過ぎず、算術級數を以て進むのみである。即ち人口の率は、一、二、四、八、十六の速度なるに對し、食物の増加率は、一、二、三、四、五の増加である。故に今より二百年の後には人口二百五十六に對し食物は九の割合となるべく三百年後には人口四千〇九十六に對して食物は一三の割合となる云ふ恐る可き結論に到達する。斯くて人類は到底地球上に棲む事を得なくなる。

而も世界の事實は、斯の如く極端なる結果となつて居らぬ云ふ事實に對し、マルサスの自ら解釋せる所は「人口論」の第一版と第二版とに依つて多大の差異を示して居る。第一版に於ては積極的制限のみを認め、かゝる結果の實現すべくしてせざるは、疫病、戰爭、貧困及び貧困より生ずる殺兒、墮胎等の罪惡に依つて増殖すべき人口が阻止せらるゝ爲めであるを論じて居る。

而も第二版に於ては、是等の積極的制限の外に豫防的制限をも認め、人は性慾遂行の道德的抑制に依りて、自然人口増加を制限して居るを説き、進んでかゝる制慾の必要を主張して居る。即ち制慾に依つて人口増加を未然に防がなければ、人類は貧困、罪惡、戰爭等

終

大正十五年五月廿五日 印刷納本
大正十五年六月一日 發行
定價一部二十錢
廣告料壹頁五拾圓

大阪府中河内郡小阪町下小阪
澤崎金作
著作兼發行印刷人
大阪府中河内郡小阪町下小阪
財界評論社
發行所
大阪府中河内郡小阪町下小阪
印刷所
大阪府北區曾根崎上二丁目三三
生駒印刷所